

資料提供	
令和2年9月1日	
担当課 (担当者)	県立博物館 学芸課 小山 浩和
電話	0857-26-8044

県立博物館歴史の窓において

「宇倍神社古墳 —収蔵庫から発掘した因幡の古墳—」の展示を行います

当館歴史・民俗展示室「歴史の窓コーナー」を下記の通り展示替えを行いますので、県民の皆様ひろく周知するため、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

記

1. 趣旨

宇倍神社古墳は、鳥取市国府町の宇倍神社境内にある直径14mの円墳です。昭和17年の土砂崩れで法面に竪穴式石室が露出して、銅鏡や管玉、鉄器類等の副葬品を伴うことが明らかとなりました。ほどなく石室は、大半の出土品とともに埋め戻され、現在見ることはできません。

しかし当館所蔵の川上資料には、その際の概要を記した貴重な資料が含まれています。また、宇倍神社には副葬品の一部が残されています。そこで今回は収蔵庫に眠る貴重な記録を掘り起こし、最新の調査成果を盛り込んだ展示を行い、宇倍神社古墳の全体像に迫ります。

2. 展示テーマ「宇倍神社古墳 —収蔵庫から発掘した因幡の古墳—」展

3. 主な展示資料

- (1) 細線渦文鏡〔宇倍神社蔵〕（直径9.5cmの仿製（国産）鏡。戦時中宇倍神社境内にて防空壕を掘削中に出土。宇倍神社古墳の副葬品の可能性が高い。）
- (2) 鉄剣片〔宇倍神社蔵〕（宇倍神社古墳竪穴式石室内より出土。）
- (3) 二段逆刺鍬〔宇倍神社蔵〕（5世紀代の畿内の大型古墳周辺に分布の中心を持つ鉄の鍬。県内4例目となる希少な発見例であることが、今回のX線調査で判明。）
- (4) 宇倍神社古墳の竪穴式石室開口時の古写真〔宇倍神社蔵〕
（神社に1葉のみ伝わる貴重な写真をパネルにて展示）
- (5) 宇倍神社古墳関連資料〔当館蔵〕
（郷土史家の川上貞夫氏（故人）が書き写した古墳に関する図面や資料等を初公開。）

4. 展示期間

令和2年9月1日（火）～10月25日（日）

5. 展示場所

鳥取県立博物館1階 歴史民俗常設展示室内

6. 入館料

常設展示観覧料180円（団体150円、大学生以下・学校教育活動での引率者・障がいのある方・難病患者の方・要介護者及びその介護者）

【会場案内図】

